

なは市民協働大学だより

第7号

なは市民協働大学の“なう（今）”をお届けします！



令和6年度なは市民協働大学
第7回 成果発表会及び修了式

修了生の皆さんおめでとうございます！

去る令和6年11月16日（土）に、令和6年度なは市民協働大学「成果発表会及び修了式」を開催しました。学長である知念覚市長をはじめ、協働によるまちづく推進協議会の與儀会長や各講座の講師にもご参加いただきました。

受講生は、各々の探求テーマの集大成として7分間のポスタープレゼンに挑み、グループで学んできたことについて、様々な工夫を凝らして発表を行いました。講師の方々からは、「活動現場に行って語り合った様子が伝わってきた」「新たな視点をもたらえた」「現場取材に来てくれて嬉しかった。また来て欲しい！」などのコメントがありました。

知念学長からは、「客観的なデータに基づく課題の分析が大事」とのお話がありました。また、上原晴美さんと知念亮太さんからの受講生代表挨拶では「“多世代間の協働”で社会を築く未来を描きながら、これからも市民として、自分にできる一つ一つを日々見つめ、挑戦の一步を起こしてまいります」と、力強いメッセージと共に修了式が締めくくられました。



卒業生代表挨拶 上原晴美さん



卒業生代表挨拶 知念亮太さん

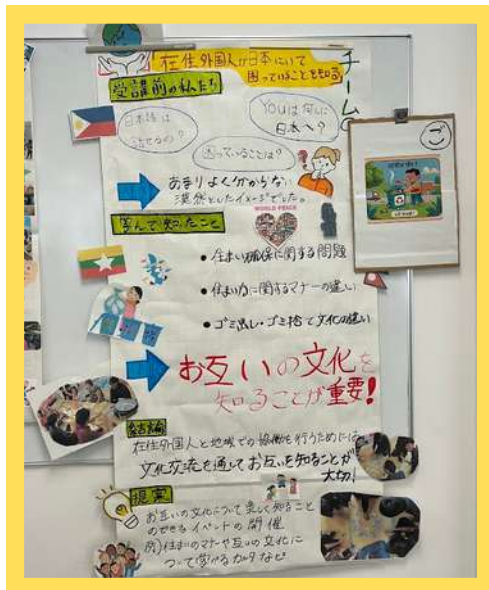
グループ 1

探求テーマ

在住外個人が日本にいて困っていることを知る！

ネパール語での自己紹介が印象的だったグループ1は、外国人が一体何に困っているのか、実態を知ることに関心を置き、その中でも「外国人の住居に関わる問題」に着目して、探求を深めました。

現場取材で訪れた外国人コミュニティの現場にて触れた、カードゲームをきっかけに、那覇市内に暮らす外国人が“楽しみながら”ゴミの出し方など「生活ルール」を学ぶことができるツール（かるた）の提案をしました。



グループ 2

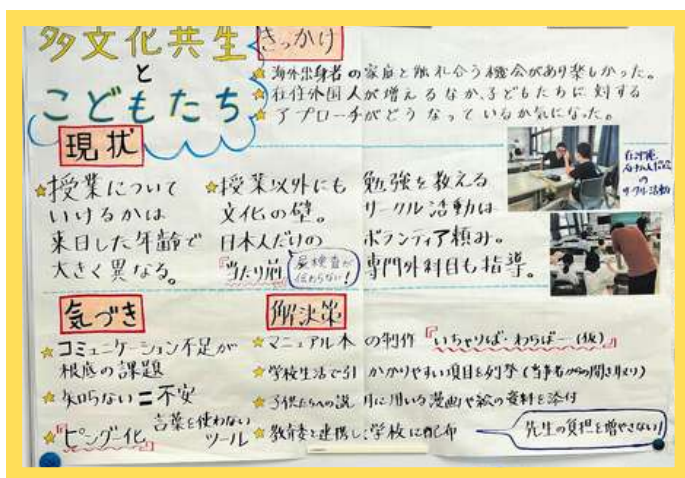
探求テーマ

多文化共生とこどもたち

外国人にルーツを持つこどもたちが直面する、学校生活での様々な壁に着目して、言葉や文化・慣習の違いによる困りごとを情報収集しました。

「知らない＝不安」につながるという課題に対する解決方法として提案した『いちやばわらばー（仮）』（マニュアル）の作成は、言葉の壁の問題に対して、敢えて言葉を使わず、イラストや漫画を活用することで、子どもだけでなく、誰もが使えるツールです。また、このツールを教育機関や地域という“誰と一緒に”届けられるかまで考えられた発表でした。

※市内小・中学校には、167名の外国人児童生徒がいます。



グループ 3

探求テーマ

地域活性化色々な世代の居場所

若狭児童館と識名小学校地域連携室での現場取材をもとに、地域の居場所づくりとして「地域の祭り」「運動会」「体験学習」「地域企業と連携」の4つを提案しました。多世代が交流できる空間づくりをする上でどのような要素が必要なのか、また、居場所があることでこういった地域課題の解決に結びついているのか、写真やイラストを交えてまとめられており、発表を聞いているとワクワクしてくる仕掛けがたくさんありました。



グループ4

探求テーマ

違いを知ろう！地域連携室



人口データなどをもとに那覇市の子ども・子育て世代の課題を抽出し、将来、「那覇市で子育てをしたい！」と思われる社会の実現に向け、市内の5つの地域へ現場取材を行いました。各地域で行なわれている取り組みについて調査を行った結果、5つの地域ごとに地域連携室の使われ方に特徴があることを見出しました。さらに、人を巻き込む仕掛けを生み出す人材の必要性に気づき、『ちなじゅんちゅ（コーディネーター）育成講座』を提案しました。主に4つのステップに展開され、地域における“つなげる人（個）の連鎖”の可能性に触れた発表でした。

グループ5

探求テーマ

こんなまち協（小学校区まちづくり協議会）あったらいいなあ～



「こんなまち協があったらいいなあ～」を探求テーマに繁多川公民館で開催した「繁多川まつり」での学びと気づきについて、寸劇形式でのテンポよく、ワクワクするような発表でした。よく耳にする「地域の繋がり」の「繋がり方」について、講座や現場取材を通して、「誰もが意思表示でき、子どもから大人まで役割がある平等性」や「それぞれの得意が活かされること」など、自分たちにとって具体的な理想のまち協のあり方についてまとめました。



グループ6（なはV6）

探求テーマ

誰でも気軽に集まれる居場所づくり



「誰でも気軽に集まれる居場所づくり」を探求テーマに、これまでの学びと気づきについて発表しました。「子ども」を軸とすることで、多世代が関わることができ、地域課題の解決のきっかけを生み出すことができるなど、居場所づくりの重要性と可能性が感じられました。また、子どもを「見守る」立場でありながら、そこに集うことで自分自身も「見守られる」というまさに関わる全ての人が“孤立しない”関係性を見ることができた発表でした。



2024年11月発行



受講生の声

知らなかった事を知れてとても勉強になりました！

まちづくりや地域の課題についての学びを深められます。色々なグループの発表で気づかされることが多かった

ここに来たら、なぜか元気になります！

地域協働について語れる仲間に出会えたことが良かった

仲間の課題に対する市政や行動とても勉強になりました

志のある、新しい方との出会いに感謝！

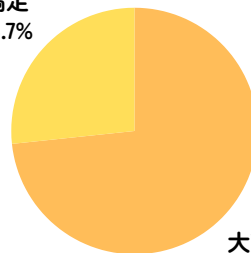
とても“居心地のよい”グループで楽しく意見交換できました

発表に向けてグループで資料作成がしたりとても楽しかったです

楽しくワクワクしながら「協働」を学びました！

なは市民協働大学満足度

満足
26.7%



大変満足
73.3%

令和6年度受講生

受講生：36人

修了生：31人

修了率：86%

事務局からメッセージ

受講生の皆様、令和6年度なは市民協働大学を受講していただき、ありがとうございました。約5か月間で、座学を受け、現場を体験し、グループワークを行ったことで、「協働」とは何かを少しでも理解し、実感いただければ、非常に嬉しいです。

また、成果発表に向けて、捉え方や考え方が異なる受講生同士が真剣に話し合いをしている様子が見て取れました。そのなかで、どのグループも最後までやり遂げていたことに感心しました。今後、なは市民協働大学受講生の皆様が地域づくりの担い手として活躍していくことを期待しています！

お問い合わせ（事務局）

那覇市まちづくり協働推進課

なは市民活動支援センター

所在地： 那覇市銘苅2丁目3番1号

電話番号： 098-861-5024

Eメール： C-KATU005@city.naha.lg.jp



なは市民協働大学HP